

森と緑の会だより

【表紙写真】

アジロ自然の森で みんなで丸太運び

7月23日(日)に高知市のアジロ自然の森で、老朽化したツリーハウスの建て替えのため、約60名のボランティアが3mほどの丸太をリレー形式で森の中腹まで運びました。

(緑と水の森林ファンド都道府県事業)

秋号

2023





座学と実技で楽しく学ぶ！

木育指導員養成講座

日本一の森林率を誇る高知県。その森林を次世代につないでいくために、木や森に触れることを通して、森林の働きや大切さ、楽しさ、木の良さなどを子どもたちに伝える「木育」はとても重要な取り組みです。その木育を推進するために、担い手となる指導者を養成する講座を開催しました。

6月11日(日)、高知市文化プラザかるぽーと中央公民館で第一回目の木育指導員養成講座を開催しました。この講座は、県内で指導者として活動することを希望する方や幼稚園・保育園や小中学校、職場などの現場で木育に取り組みたい方などの受講者を募り、30名が受講しました。

座学：知っておきたい高知県の今 ～川上から川下まで～

講師：林伸一さん(木育インストラクター)

初めに世界と日本、高知県の森林の現状についてお話いただきました。

次に、木を育て、切り、売るといった



森林資源の循環利用は森林の保水力や災害防止などの機能を高め、私たちの生活や自然環境をより良い方向に導くこと、そしてその循環利用を促進させるために身近な生活空間や公共施設などに広く木材や木製品を活用することが必要であることなどを教えていただきました。

座学と実技1：木育とは何か？ ～ふれて感じる木の本质～

講師：平子真治さん(木育インストラクター)

木育は北海道で始まった「木とふれあ

い、木に学び、木と生きる」取り組みで、木との出会いが人の心を育むことを教えていただきました。

受講者は、実際に講師が行っている木育プログラム「木のお守りペンダント」作りを体験し、木片を5種類の紙やすりで磨くことで木の表面が「ざらざら」から「すべすべ」に変化する感触や、匂い、色、艶などを体感しました。

講師から、「五感を使う」ことや「心が主役」などが木育で大切にしている要素であること、また、安心して体験できる環境を作り、体験を通して生まれた子どもの気持の変化や表れを見つけ、それを認めてあげることなど、指導で大切にしている要素も教えていただきました。



実技2：年齢や場所に応じた モノづくり

講師：堀田幸生さん(木育インストラクター)

園児から大人まで楽しく体験できる木

育メニューを学びました。

●**万華鏡**：万華鏡に身近な植物の葉や花を細かくちぎって入れました。材料となったヤマモモやビワ、サクラなどの名称や葉の形などの特徴を学び、完成した万華鏡を受講者同士で見比べて、自然素材の美しさを体感しました。



●**ラワンの種とばし**：ラワン（和名：フタバガキ）はベニヤ板となる樹種で、主な産地は東南アジアです。その種を真似た紙模型を飛ばして遊ぶことで、木材輸入や高知県の森林の話につなげるなどの指導のポイントを教わりました。

●**竹ゴマ**：端材となった竹の節に好きなように水性マーカーで柄を描いて、竹ゴマを作りました。コマを回すとそれぞれに異なる模様を生み出し、どれも美しいコマに仕上がりました。



●**枝虫**：細長い枝や様々な形の木の葉っぱ、木の実、花を使って、色紙を土台にして枝虫を作りました。自分で考えた虫の名称を色紙に書き込み完成させ、最後にそれぞれ個性的な枝虫を紹介しました。

●**バードカービング**：ナイフの使い方、木の削り方の指導を受けながら、直径5cm程度のくすのきの木から鳥のくちばしや尾羽の形を作る体験をしました。木を削った時の独特なしょうのうの匂いや木の硬

さを体感することができました。

それぞれの木育メニューで受講者の感性や個性が生み出され、その作品を見比べながら互いに楽しみ、ほめて、認めることが、木で「心」を育てることにつながる深い学びになりました。

実技3：室内でもできる ネイチャーゲーム

講師：鮫島昭洋さん

(高知県シェアリングネイチャー協会)

今回は雨天のために室内での体験になりましたが、各自の感性を引き出し、コミュニケーション能力や想像力を高めるカード遊びを教えてくださいました。野外では自然物を用いて、五感を通じて自然に触れる体験学習ができるとのことでした。



講座終了後に受講者に「高知県木育指導員養成講座修了証」を手渡しました。

今回は養成講座基礎編で、次の段階では指導に必要な要素を掘り下げて学ぶ講座を開催する予定です。また、受講者にはフォローアップ研修として、木育イベントなどで講師の現場体験の機会も設けています。

～受講者の感想～

- 内容が盛りだくさんで充実していた。●実践していく中でとても大切な心の部分を教えていただいた。●周りの方にも受講を勧める。●受講者の楽しませ方など講師の話が上手い。●いろんな切り口から自然を楽しむ、触れ合うことができるのだと学びになった。●身近な材料で作れるのが良かった。

木にふれて、つくって、感じよう！ こうち木育ひろば

7月29日(土)、こうち男女共同参画センターソーレで開催された「こうち環境博2023」に、こうち木育ひろばとして参加しました。

木のおもちゃを広げたスペースには幼児から小学生までたくさん子どもたちが木の玉プールや木のハウス、積み木などで楽しく遊びました。



ワークショップは、木のお守りペンダントと枝虫、竹ゴマづくりのブースを設けて、のべ43名の子どもたちがものづくりを体験しました。

香美市の木でつくる！ 夏休みスプーンづくり講座

夏休み後半の8月20日(日)、香美市中央公民館にて、小学3~6年生の児童と保護者合わせて16名が参加し、香美市の木を使ったスプーンづくりをしました。



サクラやスモモなど10種類の中から好きな樹種を選んで、ヤスリでこすって形や表面を整え、約2時間かけて世界で一つの自分だけのスプーンを完成させました。

講師の平子真治さんからは、ヒノキとスギの葉っぱや枝を実際に触ったり匂いを嗅いだりして、その違いを教わったり、間伐した森と間伐していない森では樹木の生長が異なることなど森や木について学びました。

よってたかって 香美市でエコ！

香美市こどもエコクラブなど、香美市内外の環境保全の取り組みを知ってほしい！環境を守ることへ興味や関心を広げたい！という目的で香美市立図書館かみーるで開催されたイベントに当会も参加しました。

7月28日(金)、29日(土)には、当会が緑の募金で行う森林保全・木育の取り組みや森林ボランティア団体「こうち森林救援隊」の活動を紹介するパネル展示を行いました。



また、30日(日)には、こうち森林救援隊のスタッフと一緒に間伐材を使った「小枝のストラップづくり」のワークショップを行い、子どもから大人まで27名が参加し、ストラップ作りを楽しみました。

春の春分峠を歩こう

緑と水の森林ファンド事業

5月14日(日)、森の魅力を感じ、森林の現状や機能などを知ることで森林保全への関心を高め、自分にできる関わり方を考える現地研修を行いました。

原生的な自然林が残る春分峠を起点に、久保谷風景林を歩くとすぐにアカガシの巨木に出会います。参加者は小さなグループに分かれて杖立まで歩きました。



双子のアカガシの前で記念撮影。あいにくの雨となりましたが、霧に包まれた森は幻想的で美しく、印象に残る体験となりました。

今回ガイドをお願いしたのは、高知中部森林管理署の森下嘉晴さん、梶原町松原区長の松山栄喜さん、高知県森林インストラクター会の井上靖彦さん、秋澤明彦さん。多種多様な樹木を観察しながら、参加者からの疑問、質問に答えていただきました。



左：ギンリョウソウ。春の数カ月だけ見ることができます。右：淡いピンク色のシャクナゲ。

杖立から鈴ヶ森の方へ進むと山道を挟んで片側が自然林、片側が人工林と二つの

森の違いを見比べることができる場所があります。ガイドの森下さんから、自然のサイクルで維持されている自然林の成り立ちや一度人の手が加えられた人工林は一生手入れが必要なこと、近年のシカの食害による問題、自然林、人工林ともに森林の持つ機能で国土を保全し、水を生み出し、空気を浄化する大切な働きをしていることなどをお話いただきました。

帰りは来た道をゆっくり戻るルートと天然のヒノキやヒメシャラなどの巨木群に出会える冒険ルートに分かれて歩きました。



アカガシの大木。推定樹齢800年。

～参加者の声～

- 人工林と比較することで天然林の特徴やすばらしさを実感できた。山の機能の重要性も痛感した。
- シカの被害が印象に残った。自分にもできることをしたい。
- 次の世代のために森林を守っていくことは大切だと思った。

はじめよう森林保全ボランティア！

高知県森と緑の会は、緑の募金や高知県の森林環境税を活用してボランティア活動の支援を行っています。高知県の公式サイト「森・ヒト・こうち応援ネット」では、県内各地で行われるボランティア活動の募集やボランティア団体のネットワーク、活動を支援する補助金の情報をご覧ください。





こうち山の日推進事業

高知県の森林環境税を活用した補助事業

令和5年度は森林体験や木工体験など25事業を22団体が実施しています。イベントの告知は随時当会ホームページ・SNSでお知らせします。

JA高知女性組織協議会の取り組み

「フレッシュミズと学ぼう」ネイチャーゲームと竹筒ご飯&バーベキュー

8月20日(日)、甫喜ヶ峰森林公園でフレッシュミズと学ぶ自然体験活動を実施し、県内の親子10組28名が参加しました。「フレッシュミズ」とはJAをよりどころに食や農業に関心のある若い世代の女性が集まって作った組織で、仲間づくりや学び合う様々な活動を行っています。

はじめに、高知県シェアリングネイチャー協会の指導で、森林内で隠された人工物を見つけたり、お題を探し当てたりなどのネイチャーゲームを行い、自然の持つ様々な表情を楽しみ、自然に対する見方や不思議を感じる感性を磨きました。

次に、防災食にもなる竹筒ご飯づくりを

行いました。みんなで協力し合いながらノコギリで竹を切り、その竹にお米を入れてご飯を炊きました。艶々に炊けたご飯と共にバーベキューを楽しんだ後、木のペンダントや竹の万華鏡づくりを行いました。

自然の恵みを活かしたこの取り組みは、豊かな心や生きる力を育む体験活動となりました。



山の学習支援事業

高知県の森林環境税を活用した補助事業

高知県の豊かな森林環境について学び、体験する森林環境学習を支援しています。令和5年度は85校で実施中です。

米奥小学校：親子で「山と川と人のつながり」を体感

7月8日(土)、四万十町立米奥小学校で山と川の学習プログラムを行いました。

四万十川財団の神田修さんを講師に招き、はじめに四万十川に生息する魚と森・川・海のつながりなどについてお話していただきました。その後、近くの河原に移動し、2~4年生は川の生き物観察と捕まえた川虫をエサに魚釣りを体験し、5・6年生は地元漁協組合や有志の方々の指導によりアユの友釣りを体験しました。

この学習プログラムは保護者や地元の方々も参加協力し、学校・家庭・地域が助け合って、みんなで地域の自然環境について学べる機会となりました。



高知県森と緑の会 正会員・賛助会員をご紹介します

※敬称略・順不同（令和5年10月1日現在）

【正会員】

高知県
34市町村
23森林組合
高知県森林組合連合会
農林中央金庫高松支店

(一社)高知県木材協会
(一社)高知県山林協会
高知県農業協同組合中央会
高知県種苗緑化協同組合
高知市再生資源処理協同組合

安芸建設協会
高陵地区建設協会
株式会社四国銀行
株式会社高知銀行
株式会社高知新聞

【賛助会員】

安芸猟友会
中芸猟友会
芸東地区猟友会
香美猟友会
いの地区猟友会
佐川中央猟友会
須崎地区猟友会
土佐清水地区猟友会
宿毛地区建設協会
嶺北林材協同組合
協同組合木星会
仁淀川漁業協同組合
馬路村農業協同組合
株式会社高知事務機
有限会社香北観光
株式会社海昌
株式会社とされいほく

(一社)高知県建設業協会
高知県建設業協会室戸支部
高知県建設業協会嶺北支部
高知県建設業協会南国支部
高知県建設業協会伊野支部
高知県建設業協会高吾北支部
高知県建設業協会高幡支部
高知県建設業協会中村支部
高知県林業改良普及協会
協同組合高知県木材市場連盟
高知県木材産業協同組合連合会
高知県素材生産業協同組合連合会
仁淀流域素材生産業協同組合
こうち生活協同組合
生活協同組合コープ自然派しこく
医療法人恕泉会 内田脳神経外科
医療法人産鈴会 田村産婦人科

(一社)高知県森林整備公社
(一社)高知県森林土木協会
(一社)四国林業土木協会
(一社)日本樹木医会高知県支部
株式会社島田屋
鈴木建設株式会社
株式会社南国緑地建設
株式会社エヌ・シー・ビー
有限会社福井フラワーガーデン
株式会社林釣漁具製作所
ガーデン&エクステリアen
中土佐ライオンズクラブ
はりまやハーバークラブ
有限会社太平洋マリン
株式会社東洋ビジネスソリューションズ
とおわ守人企業組合

鍋島 浩	岩村 俊夫	松本 美香	平子 真治	溝淵 健夫※	中西 哲※
臼井 裕昭	門田 数子	道原 大貴	上田 彰彦	三石 文隆※	萩野 義和※
土居 稔	谷口 喜美	山下 裕矢	片岡 晃代	加藤 漢※	(※名誉会員)
坂本 彰	西内 章子	野島 幸一郎	山口 貴子	弘田 兼一※	
坂本 千代	井澤 三男	窪添 亨	市栄 智明	土森 正典※	
受田 浩之	福田 誠	長田 耕一	西澤 窈子	浜田 英宏※	
大野 靖紀	吉田 日和	安並 真璃子	川村 貞夫	依光 晃一郎※	
野口 朗子	高橋 隆	宮崎 聖	西内 健※	桑名 龍吾※	

賛助会員を募集しています！

森林の大切さを伝え、一人ひとりが森林保全に参加する「森づくりの輪」を広げるために、当会の活動をご支援いただける賛助会員を募集しています。

【年会費】

個人 3,000円から

団体 10,000円から

※当会は特定公益増進法人に該当します。賛助会費や緑の募金は、特定寄附金として税制上の優遇装置が受けられます。

豊かな森林を未来に引き継ぐために、
わたしたちの活動をご支援ください。

SNSで事務局の活動やイベントの告知などを発信しています。



是非ともご覧ください。



Instagram
はじめました！



秋の「緑の募金」キャンペーン

毎年9/1～10/31は秋の緑の募金期間です。

「緑の募金」にご協力をお願いします！

都市緑化祭 10/7(土)▶10/9(月)

時間：9：00～16：00
場所：高知市中央公園

植木・鉢花の展示即売会やチャリティーせり市でお得にお庭に緑を増やしましょう♪

苗木や花の種の無料配布、木製品の販売や木工体験コーナー、よさこい鳴子踊り&チャリティーコンサートなど、イベントが盛りだくさん。遊びに来てね！

10/7(土)に中央公園北口とひろめ市場で募金の呼びかけをします！
募金に来てね～



●緑の募金箱

高知県内の量販店、ホームセンター、金融機関、道の駅、体験施設等のご協力をいただき、「緑の募金箱」を常設しています。

募金箱を見かけたら、

ご協力をお願いします！

新たに募金箱を設置していただけるところも募集しています。

令和6年度緑の募金公募事業 募集のご案内



緑の募金を活用して、県内の森林整備や緑化推進に関する事業を行う団体に交付金を交付します。

申請期限：令和5年11月30日(木) 必着
実施期間：令和6年4月から令和7年3月

<過去の実施例>

地域の植樹活動、どんぐりの森づくり、遊歩道整備、樹木板設置、山・川・海のつながりを考える講演会、森林環境学習や人材育成の講座など

※詳しくは、当会ホームページのトップページ「お知らせ」の告知をご覧ください。



●緑の募金グッズ

一定額以上の緑の募金でご希望の方にオリジナルグッズをプレゼント！

木製バッジ (8種類) : 500円以上
マルシェバッグ (2種類) : 1,000円以上
ランチバッグ (4種類) : 1,000円以上
山歩き手拭い (3種類) : 1,000円以上

※詳しくは、当会ホームページの「緑の募金グッズのご案内」ページをご覧ください。

公益社団法人高知県森と緑の会

〒781-8010 高知市棧橋通 6-7-43 総合保健協会合同庁舎 5階

電話番号 088-855-3905 FAX 番号 088-855-3906

E-mail : info@moritomidori.com URL : www.moritomidori.com

ホームページでイベント情報などを随時お知らせします >

発行

